

勵 <

Work

38 労働力 Labor Force

*1

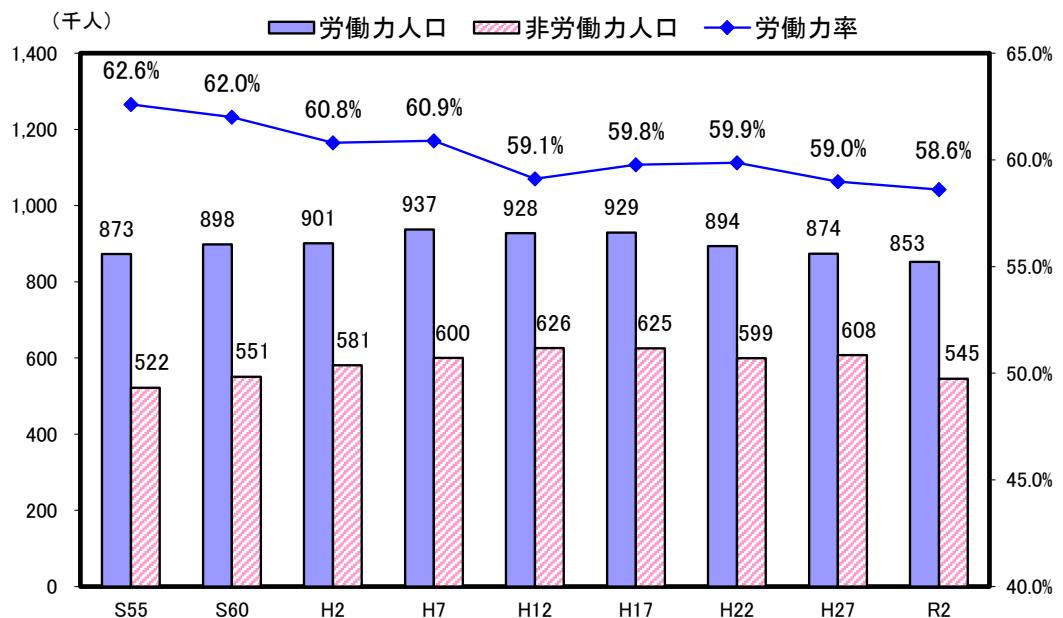
*2

*3

*4

都道府県 Prefecture			労働力率 Labor force participation rate						完全失業率 Unemployment rate	
			Male Female		Female Male					
			(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank
北海道	Hokkaido		59.1	39	69.5	34	50.2	44	2.8	42
青森県	Aomori		60.1	35	69.8	31	51.6	37	2.9	43
岩手県	Iwate		61.0	28	70.7	24	52.3	33	2.3	27
宮城県	Miyagi		61.5	23	71.6	13	52.3	32	3.0	45
秋田県	Akita		58.4	45	68.6	38	49.5	45	2.5	33
山形県	Yamagata		61.8	20	70.6	26	53.9	15	1.7	4
福島県	Fukushima		61.3	25	71.2	21	52.0	36	2.4	29
茨城県	Ibaraki		61.6	21	71.0	22	52.4	29	2.5	33
栃木県	Tochigi		62.6	13	72.0	9	53.5	21	2.4	29
群馬県	Gumma		62.4	16	71.3	18	53.9	14	2.0	13
埼玉県	Saitama		62.9	11	72.6	5	53.7	16	2.7	39
千葉県	Chiba		62.3	17	71.8	11	53.2	22	2.5	33
東京都	Tokyo		66.7	1	76.0	1	58.2	1	2.5	33
神奈川県	Kanagawa		63.1	7	73.0	3	53.7	18	2.9	43
新潟県	Niigata		60.8	30	69.7	33	52.7	26	2.1	22
富山県	Toyama		62.7	12	71.4	15	54.7	8	1.8	7
石川県	Ishikawa		63.0	8	71.2	20	55.6	4	1.9	9
福井県	Fukui		64.5	3	72.8	4	56.8	2	1.4	2
山梨県	Yamanashi		63.0	9	72.0	10	54.6	9	2.0	13
長野県	Nagano		63.5	5	72.4	7	55.3	6	2.0	13
岐阜県	Gifu		62.6	14	71.6	12	54.3	13	1.8	7
静岡県	Shizuoka		63.0	10	72.0	8	54.4	12	2.1	22
愛知県	Aichi		64.7	2	74.3	2	55.5	5	2.0	13
三重県	Mie		62.2	18	71.5	14	53.6	19	1.7	4
滋賀県	Shiga		63.2	6	72.5	6	54.5	11	2.3	27
京都府	Kyoto		60.5	32	69.8	32	52.3	30	2.5	33
大阪府	Osaka		61.1	26	70.9	23	52.6	27	3.2	46
兵庫県	Hyogo		59.8	36	70.0	29	51.0	38	2.6	38
奈良県	Nara		56.6	47	66.8	47	47.9	47	2.4	29
和歌山县	Wakayama		59.2	38	69.4	36	50.5	43	2.1	22
鳥取県	Tottori		61.9	19	70.3	27	54.5	10	2.0	13
島根県	Shimane		61.3	24	69.8	30	53.6	20	1.7	4
岡山県	Okayama		60.7	31	70.0	28	52.4	28	2.1	22
広島県	Hiroshima		61.5	22	71.2	19	52.8	25	2.0	13
山口県	Yamaguchi		57.9	46	67.9	44	49.2	46	1.6	3
徳島県	Tokushima		58.5	44	67.1	45	50.9	40	1.9	9
香川県	Kagawa		60.4	33	69.3	37	52.3	31	2.0	13
愛媛県	Ehime		59.0	42	68.6	39	50.7	42	1.9	9
高知県	Kochi		59.0	40	66.9	46	52.3	34	2.0	13
福岡県	Fukuoka		61.1	27	70.6	25	53.0	24	2.7	39
佐賀県	Saga		62.5	15	71.3	17	54.9	7	1.3	1
長崎県	Nagasaki		59.0	41	68.4	43	51.0	39	1.9	9
熊本県	Kumamoto		61.0	29	69.4	35	53.7	17	2.4	29
大分県	Oita		59.0	43	68.5	40	50.7	41	2.0	13
宮崎県	Miyazaki		60.1	34	68.4	41	53.1	23	2.7	39
鹿児島県	Kagoshima		59.7	37	68.4	42	52.2	35	2.2	26
沖縄県	Okinawa		63.6	4	71.4	16	56.3	3	3.3	47
全国	Japan		62.1		71.6		53.5		2.6	

熊本県の労働力人口の推移



解説

【概要】

令和2年の県内15歳以上人口（労働力状態不詳を除く）1,398千人のうち、労働力人口は853千人で、労働力率は61%となった。男女別では、男性69.4%（全国平均71.6%）女性53.7%（全国平均53.5%）であり、全国に比べて男性は下回り、女性は上回った。

また、年次推移を見てみると、男女別では、男性の減少が大きく、昭和55年の77.6%から69.4%にまで減少しており、女性は、逆に49.6%から53.7%と増加している。

令和5年の完全失業率は2.4%で、全国平均より0.2ポイント低く、前年から0.2ポイント減少した。

○労働力人口

15歳以上の人口のうち就業者と完全失業者を合わせた数。

○就業者

調査週間中に賃金、給料、諸手当、内職収入などの収入を伴う仕事を少しでもした者。休業者も含み、家族が自営業の手伝いをした場合は、無給であっても含む。

○完全失業者

調査週間中、収入になる仕事を少しもしなかった人のうち、仕事に就くことが可能であって、かつ公共職業安定所に申し込むなどして積極的に仕事を探していた人。

○労働力率

労働力人口 ÷ 15歳以上人口（労働力状態不詳を除く） × 100

○完全失業率

完全失業者数 ÷ 労働力人口 × 100

資料出所	調査期日	調査周期
*1, *2, *3 「国勢調査」 総務省統計局 *4 「労働力調査(参考資料)」 総務省統計局	令和2年10月1日 令和5年	5年 毎年

39 就業者 Employees

*1

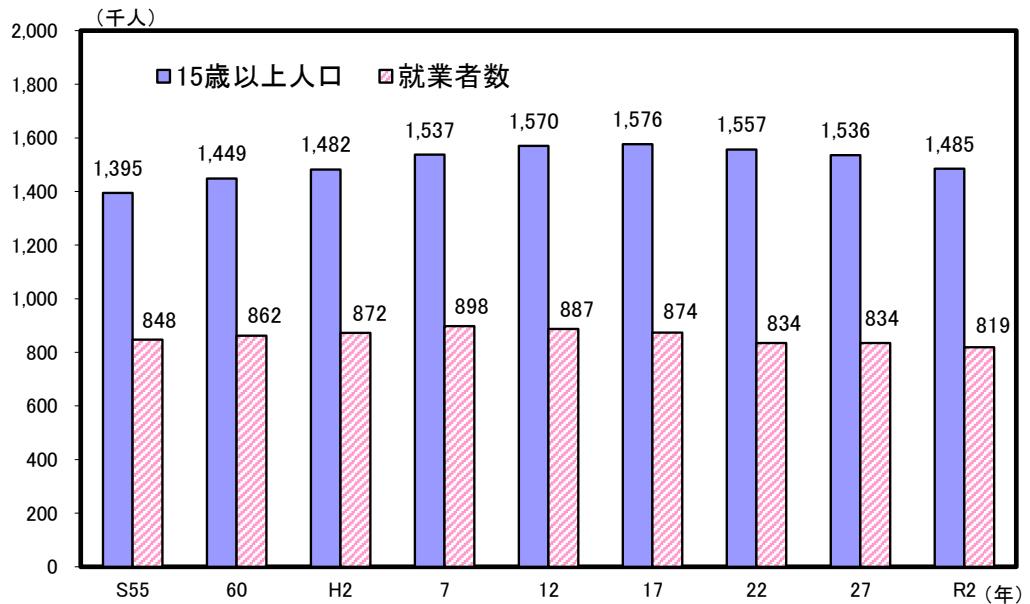
*2

*3

*4

都道府県 Prefecture			就業者比率 Ratio of employed workers		離職率 Ratio of separated employees		平均勤続年数 Average length of service			
			(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank	男 Male		女 Female	
							(年) (years)	順位 Rank	(年) (years)	順位 Rank
北海道	海 島	道 Hokkaido	50.9	42	4.2	7	13.4	34	9.6	42
青森県	森 手	県 Aomori	55.3	19	4.5	1	14.4	16	10.9	12
岩手県	城	県 Iwate	56.9	11	3.6	29	14.2	21	11.1	10
宮城県	田	県 Miyagi	54.5	27	4.5	1	13.3	36	10.1	35
秋田県		県 Akita	54.1	30	3.6	29	14.3	20	12.3	1
山形県	福島県	県 Yamagata	57.6	5	3.4	40	14.8	5	11.7	6
茨城県	栃木県	県 Fukushima	54.7	24	3.8	17	13.9	27	11.1	10
群馬県		県 Ibaraki	55.0	23	3.3	44	14.9	3	10.4	21
埼玉県	千葉県	県 Tochigi	55.5	18	3.6	29	15.9	1	10.3	23
東京都	新潟県	県 Gumma	56.8	12	3.7	26	13.6	33	10.2	27
神奈川県		県 Saitama	54.0	31	4.1	10	14.1	23	9.7	40
新潟県		県 Chiba	52.8	36	3.7	26	13.4	34	9.3	44
長野県	富山県	県 Tokyo	49.5	44	3.5	36	12.9	44	8.8	47
岐阜県	福井県	県 Kanagawa	52.3	38	3.8	17	14.5	11	10.0	37
滋賀県	愛知県	県 Niigata	56.3	15	3.5	36	15.4	2	11.8	4
山梨県	長野県	県 Toyama	58.7	2	3.5	36	14.7	6	12.1	2
石川県	富山県	県 Ishikawa	57.4	7	3.8	17	14.7	6	11.8	4
福井県	福井県	県 Fukui	59.9	1	3.0	47	13.9	27	11.5	8
長野県	山梨県	県 Yamanashi	57.0	10	3.4	40	13.3	36	10.2	27
岐阜県	岐阜県	県 Nagano	58.6	3	3.6	29	14.4	16	10.2	27
静岡県	愛知県	県 Gifu	57.3	9	3.4	40	14.4	16	10.3	23
三重県	三重県	県 Shizuoka	57.6	6	3.6	29	14.5	11	10.2	27
滋賀県	滋賀県	県 Aichi	56.6	13	3.6	29	14.6	10	9.3	44
奈良県	奈良県	県 Mie	55.7	17	4.0	12	14.9	3	10.7	16
和歌山县	和歌山县	県 Shiga	56.0	16	3.2	46	14.1	23	10.8	15
京都府	大阪府	府 Kyoto	49.3	45	3.6	29	14.0	26	10.2	27
兵庫県	奈良県	府 Osaka	48.1	47	4.2	7	14.4	16	10.1	35
奈良県	和歌山县	県 Hyogo	51.4	40	4.4	3	13.9	27	10.0	37
和歌山县		県 Nara	49.8	43	4.2	7	13.8	30	9.7	40
		県 Wakayama	53.0	35	3.8	17	14.7	6	11.3	9
鳥取県	島根県	県 Tottori	56.5	14	3.4	40	13.1	40	10.7	16
岡山県	岡山県	県 Shimane	57.3	8	3.3	44	14.7	6	11.7	6
広島県	広島県	県 Okayama	54.6	26	3.8	17	14.2	21	10.7	16
山口県	山口県	県 Hiroshima	55.1	22	3.8	17	14.1	23	10.7	16
		県 Yamaguchi	53.1	34	3.9	15	14.5	11	11.9	3
徳島県	香川県	県 Tokushima	53.5	33	3.5	36	14.5	11	10.9	12
愛媛県	高知県	県 Kagawa	54.4	28	3.8	17	14.5	11	10.4	21
高知県	高知県	県 Ehime	52.5	37	3.7	26	13.8	30	10.2	27
福岡県	福岡県	県 Kochi	51.1	41	3.9	15	13.1	40	10.3	23
		県 Fukuoka	52.3	39	4.0	12	13.0	42	9.6	42
佐賀県	長崎県	県 Saga	58.0	4	3.8	17	13.8	30	10.9	12
		県 Nagasaki	54.4	29	4.1	10	12.9	44	10.5	20
熊本県	熊本県	県 Kumamoto	55.2	21	4.0	12	13.0	42	10.2	27
大分県	大分県	県 Oita	53.9	32	3.8	17	13.3	36	10.0	37
宮崎県	宮崎県	県 Miyazaki	54.6	25	4.3	5	12.6	46	10.2	27
鹿児島県	鹿児島県	県 Kagoshima	55.2	20	4.3	5	13.3	36	10.3	23
沖縄県	沖縄県	県 Okinawa	48.3	46	4.4	3	11.0	47	9.0	46
全国	国	Japan	53.2		3.8		13.8		9.9	

熊本県の就業者数の推移



解 説

【概要】

令和2年の県内就業者数は819千人で、15歳以上人口に占める割合（就業者比率）は55.2%となっており、全国平均の53.2%を1.9ポイント上回っている。

また、昭和55年以降、平成7年までは15歳以上人口の増加とともに就業者数も増加していたが、平成12年、平成17年については、15歳以上人口は増加しているにもかかわらず、就業者数は減少している。なお、令和2年は、平成27年と比較すると15歳以上人口の減少に伴い就業者数も減少している。

就業者比率については、昭和55年以降、減少傾向にあったが、平成27年以降増加傾向にある。

○就業者

調査週間に中に賃金、給料、諸手当、内職収入などの収入を伴う仕事を1時間以上した者。休業者も含み、家族が自営業の手伝いをした場合は、無給であっても含む。

○離職者

1年前には仕事をしていたが、その仕事をやめて現在は仕事をしていない者。

○継続就業者

1年前の勤め先と現在の勤め先が同じ者。

○転職者

1年前の勤め先と現在の勤め先が異なっている者。

○就業者比率

就業者数 ÷ 15歳以上人口（労働力状態不詳を含む）×100

○離職率

離職者数 ÷ （継続就業者 + 転職者 + 離職者）×100

○勤続年数

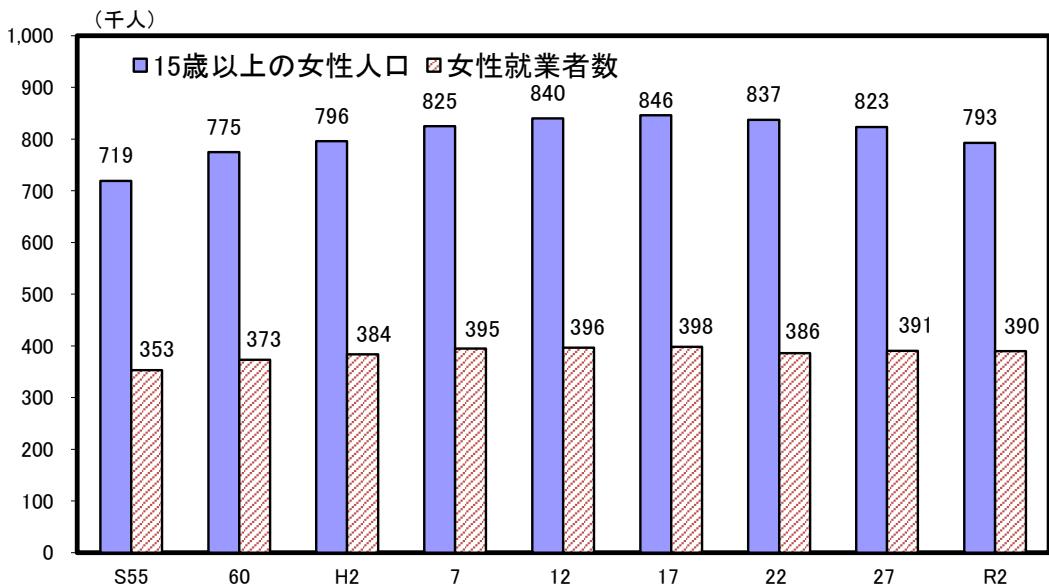
労働者がその企業に雇われてから、調査対象日までに勤続した年数。

資料出所	調査期日	調査周期
*1 「国勢調査」 総務省統計局	令和2年10月1日	5年
*2 「就業構造基本調査」 総務省統計局	令和4年10月1日	5年
*3, *4 「賃金構造基本統計調査」 厚生労働省	令和5年6月	毎年

40 女性の就業 Female Employees

都道府県 Prefecture			就業者比率 Employment rate				女性管理職比率 Ratio of female executives		共働き率 Ratio of dual-income	
			男 Male		女 Female					
			(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank
北海道	Hokkaido		59.1	41	43.8	43	14.4	36	43.5	44
青森県	Aomori		63.6	15	48.1	22	18.0	3	52.3	14
岩手県	Iwate		65.3	5	49.3	14	15.6	25	54.2	10
宮城県	Miyagi		62.5	25	46.9	31	15.8	21	48.4	31
秋田県	Akita		62.8	22	46.4	33	13.5	42	52.5	12
山形県	Yamagata		65.2	6	50.7	6	14.5	35	58.2	2
福島県	Fukushima		62.8	21	47.1	29	15.7	23	50.9	19
茨城県	Ibaraki		62.6	24	47.5	27	14.9	31	48.4	31
栃木県	Tochigi		63.0	20	48.1	21	14.9	32	49.9	21
群馬県	Gumma		64.1	13	49.7	12	14.9	30	51.6	17
埼玉県	Saitama		61.3	33	46.9	32	13.5	43	45.4	38
千葉県	Chiba		59.9	37	46.0	35	13.7	41	44.3	40
東京都	Tokyo		55.0	45	44.2	42	17.9	4	43.5	44
神奈川県	Kanagawa		59.5	38	45.3	40	14.6	34	43.6	42
新潟県	Niigata		63.8	14	49.3	13	13.1	46	54.7	9
富山県	Toyama		66.3	2	51.7	2	13.3	44	56.6	4
石川県	Ishikawa		64.3	11	51.1	5	14.3	38	55.3	7
福井県	Fukui		67.1	1	53.2	1	13.7	40	59.1	1
山梨県	Yamanashi		64.4	10	50.0	11	15.2	28	53.3	11
長野県	Nagano		66.2	3	51.5	4	12.7	47	55.2	8
岐阜県	Gifu		64.8	8	50.2	10	13.2	45	52.4	13
静岡県	Shizuoka		65.0	7	50.5	8	14.1	39	51.9	15
愛知県	Aichi		64.2	12	49.2	15	15.1	29	49.1	29
三重県	Mie		63.3	18	48.6	20	15.4	27	49.7	22
滋賀県	Shiga		63.5	16	48.8	18	14.4	37	49.7	22
京都府	Kyoto		56.1	44	43.3	45	17.7	5	43.6	42
大阪府	Osaka		54.6	46	42.2	47	17.0	8	40.9	47
兵庫県	Hyogo		59.4	40	44.4	41	16.4	13	43.8	41
奈良県	Nara		58.0	42	42.6	46	16.1	18	41.2	46
和歌山县	Wakayama		61.3	34	45.8	37	16.7	10	47.2	34
鳥取県	Tottori		63.3	17	50.4	9	17.0	9	55.4	5
島根県	Shimane		64.7	9	50.6	7	14.6	33	56.8	3
岡山県	Okayama		62.2	27	47.7	25	16.7	11	49.2	28
広島県	Hiroshima		63.1	19	47.8	23	15.8	20	48.3	33
山口県	Yamaguchi		61.5	31	45.7	38	15.6	24	46.5	36
徳島県	Tokushima		60.7	35	47.1	28	19.6	1	49.7	22
香川県	Kagawa		61.8	30	47.7	24	16.4	12	49.3	27
愛媛県	Ehime		60.3	36	45.6	39	16.2	15	47.2	34
高知県	Kochi		57.1	43	45.9	36	18.0	2	49.4	26
福岡県	Fukuoka		59.4	39	46.1	34	17.7	6	46.1	37
佐賀県	Saga		65.5	4	51.5	3	16.2	16	55.4	5
長崎県	Nagasaki		62.3	26	47.5	26	16.2	14	49.6	25
熊本県	Kumamoto		62.1	28	49.2	16	17.6	7	51.9	15
大分県	Oita		61.8	29	46.9	30	16.1	17	48.9	30
宮崎県	Miyazaki		61.3	32	48.8	17	15.5	26	51.5	18
鹿児島県	Kagoshima		62.6	23	48.8	19	15.7	22	50.6	20
沖縄県	Okinawa		53.3	47	43.5	44	16.0	19	44.5	39
全国	Japan		60.5		46.5		15.7		45.0	

熊本県の女性就業者数の推移



解説

【概要】

令和2年の県内女性就業者数は390千人で、15歳以上女性人口に占める割合（女性就業者比率）は49.2%となり、全国平均の46.5%を上回っている。

また、女性就業者数の推移をみると、昭和55年以降、15歳以上女性人口の増加に伴い就業者数も増加していたが、平成17年以降は15歳以上女性人口、女性就業者数ともに減少傾向である。

○就業者

調査週間中、賃金、給料、諸手当、営業収益、手数料、内職収入などの収入（現物収入を含む）になる仕事を少しでも行った者。休業者も含む。また、家族の人が、自営業の手伝いをした場合は、無給であっても含む。

○就業者比率

就業者数 ÷ 15歳以上人口（労働力状態不詳を含む） × 100

○管理職（管理的職業従事者）

事業経営方針の決定・経営方針に基づく執行計画の樹立・作業の監督・統制など、経営体の全般又は課（課相当を含む）以上の内部組織の経営・管理の仕事に従事するもの。

○女性管理職比率

女性管理的職業従事者
÷ 管理的職業従事者（男女計） × 100

○共働き率

夫・妻とも就業している世帯数
÷ 夫婦のいる一般世帯数 × 100

○一般世帯

- (1) 住居と生計を共にしている人々の集まり又は一戸を構えて住んでいる単身者。ただし、これらの世帯と住居を共にする単身の住込み雇人については、人数に関係なく雇主の世帯に含めた。
- (2) 上記の世帯と住居を共にし、別に生計を維持している間借りの単身者又は下宿している単身者。
- (3) 会社・団体・商店・官公庁などの寄宿舎、独身寮などに居住している単身者。

資料出所	調査期日	調査周期
「国勢調査」 総務省統計局	令和2年10月1日	5年

41 高齢者・障がい者の就業 Elderly Employees, Employees with the Disabilities

*1

*2

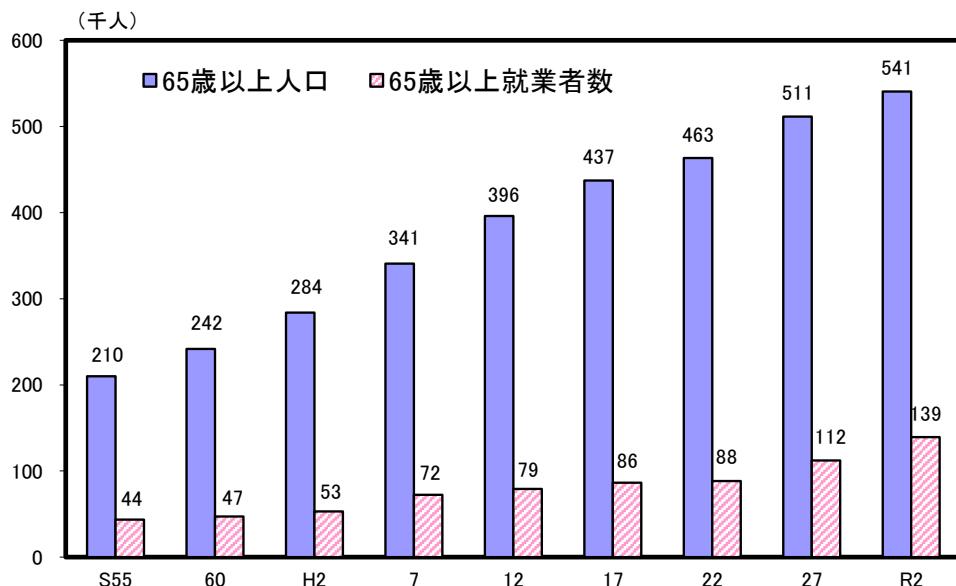
*3

*4

都道府県 Prefecture			高齢者の就業者比率 Ratio of elderly employees						障がい者雇用率 (民間企業) *5			
			男 Male		女 Female		*5					
			(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank				
北海道	Hokkaido		22.6	43	31.8	41	16.0	44	2.64	12		
青森県	Aomori		25.6	19	34.9	14	19.1	20	2.49	24		
岩手県	Iwate		27.5	7	37.9	6	19.9	14	2.50	23		
宮城県	Miyagi		24.3	34	34.6	16	16.3	41	2.39	39		
秋田県	Akita		25.0	27	35.5	12	17.5	38	2.49	24		
山形県	Yamagata		27.8	6	38.1	5	20.0	12	2.37	40		
福島県	Fukushima		26.3	15	35.8	9	18.9	22	2.41	36		
茨城県	Ibaraki		25.4	21	33.3	28	18.9	22	2.33	45		
栃木県	Tochigi		26.7	10	34.7	15	20.1	11	2.48	26		
群馬県	Gumma		26.4	14	34.6	16	19.8	15	2.35	44		
埼玉県	Saitama		24.5	32	32.9	32	17.6	36	2.47	27		
千葉県	Chiba		23.8	40	31.8	41	17.3	39	2.40	37		
東京都	Tokyo		25.6	19	34.6	16	18.8	25	2.29	47		
神奈川県	Kanagawa		22.7	42	30.9	43	16.3	41	2.40	37		
新潟県	Niigata		24.9	28	34.5	19	17.7	35	2.45	30		
富山県	Toyama		26.5	13	35.1	13	20.0	12	2.36	42		
石川県	Ishikawa		26.6	11	35.8	9	19.8	15	2.61	13		
福井県	Fukui		29.0	3	38.7	3	21.6	3	2.61	13		
山梨県	Yamanashi		29.8	2	39.1	2	22.5	2	2.37	40		
長野県	Nagano		30.6	1	40.0	1	23.2	1	2.47	27		
岐阜県	Gifu		27.2	8	35.8	9	20.4	8	2.53	20		
静岡県	Shizuoka		26.6	11	34.3	22	20.5	6	2.43	32		
愛知県	Aichi		25.4	21	32.9	32	19.3	18	2.36	42		
三重県	Mie		25.1	25	32.9	32	19.0	21	2.52	22		
滋賀県	Shiga		25.1	25	33.9	25	17.9	32	2.66	10		
京都府	Kyoto		24.3	34	33.4	26	17.6	36	2.43	32		
大阪府	Osaka		21.7	45	29.6	46	15.6	46	2.44	31		
兵庫県	Hyogo		22.3	44	30.9	43	15.8	45	2.47	27		
奈良県	Nara		21.6	47	30.6	45	14.6	47	3.00	2		
和歌山县	Wakayama		25.3	23	34.1	23	18.9	22	2.78	7		
鳥取県	Tottori		27.2	8	36.1	8	20.7	5	2.56	18		
島根県	Shimane		28.1	4	38.3	4	20.5	6	2.89	3		
岡山県	Okayama		24.5	32	33.0	31	18.0	31	2.58	16		
広島県	Hiroshima		24.7	30	33.3	28	18.2	28	2.54	19		
山口県	Yamaguchi		24.0	39	32.4	37	17.9	32	2.77	8		
徳島県	Tokushima		24.3	34	31.9	40	18.6	27	2.42	35		
香川県	Kagawa		24.8	29	32.7	35	18.8	25	2.31	46		
愛媛県	Ehime		24.3	34	32.5	36	18.2	28	2.57	17		
高知県	Kochi		25.3	23	32.4	37	20.2	10	2.53	20		
福岡県	Fukuoka		23.6	41	32.3	39	17.3	39	2.43	32		
佐賀県	Saga		28.1	4	37.6	7	21.1	4	2.87	5		
長崎県	Nagasaki		24.3	34	33.1	30	17.9	32	2.88	4		
熊本県	Kumamoto		25.8	17	34.4	21	19.4	17	2.59	15		
大分県	Oita		24.6	31	33.4	26	18.2	28	2.77	8		
宮崎県	Miyazaki		26.2	16	34.0	24	20.4	8	2.87	5		
鹿児島県	Kagoshima		25.8	17	34.5	19	19.2	19	2.66	10		
沖縄県	Okinawa		21.7	45	28.5	47	16.1	43	3.39	1		
全国	Japan		24.7		33.3		18.1		2.41			

*5 Ratio of employees with the disabilities (private establishments)

熊本県の高齢者の就業者数の推移



解 説

【概要】

令和2年の県内65歳以上人口541千人のうち就業者数は139千人であった。

同人口・就業者数の推移をみると、65歳以上人口が昭和55年の210千人から約2.57倍に増加し、就業者数についても昭和55年の44千人から約3.2倍となっている。

また、高齢者の就業者比率は昭和55年以降ほぼ20%前後であり、令和2年の25.8%は全国平均24.7%を上回った。

令和6年6月1日現在の障がい者雇用率（民間企業）は2.59%であり、全国平均（2.41%）及び法定雇用率（2.5%）を上回った。

○就業者

調査週間中、賃金、給料、諸手当、営業収益、手数料、内職収入などの収入（現物収入も含む）になる仕事を少しでも行った者。休業者も含む。また、家族の人が、自営業の手伝いをした場合は、無給であっても含む。

○年齢

調査年の9月30日現在における満年齢。

○高齢者の就業者比率
65歳以上の就業者数
÷65歳以上人口×100

○男性高齢者の就業者比率
男性65歳以上の就業者数
÷男性65歳以上人口×100

○女性高齢者の就業者比率
女性65歳以上の就業者数
÷女性65歳以上人口×100

○障がい者雇用率（民間企業）
「障害者の雇用の促進等に関する法律」により、1人以上の身体障がい者又は知的障がい者を雇用する義務があり、一般の民間企業においては2.5%の法定雇用率が適用される。

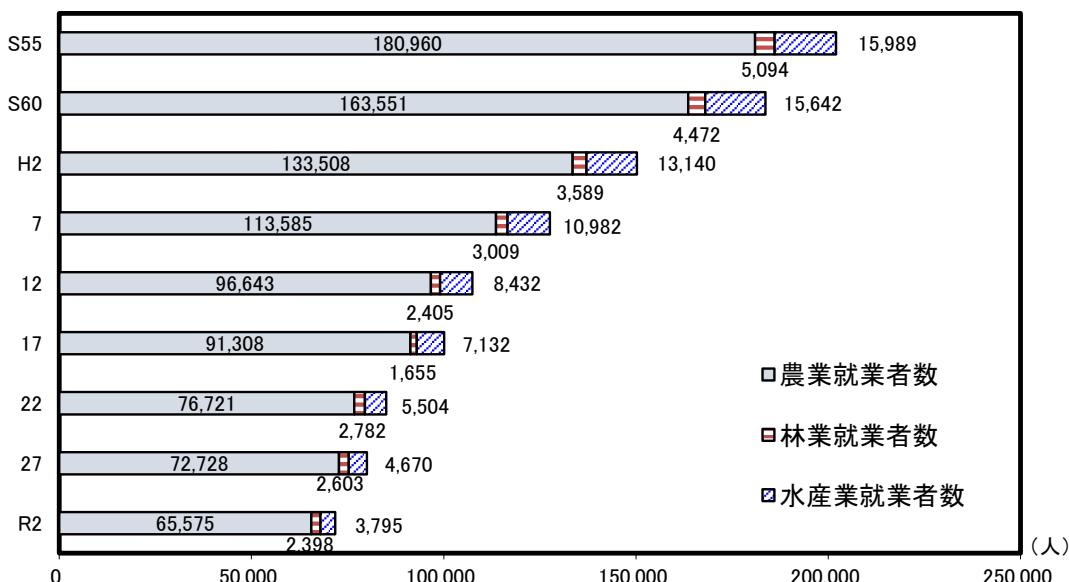
身体、知的及び精神障がい者である常用労働者数（失業者を含む）÷常用労働者数（失業者を含む）×100
(重度障がい者は1人について、2人の雇用とみなす)

資料出所	調査期日	調査周期
*1, *2, *3 「国勢調査」 総務省統計局 *4 厚生労働省資料	令和2年10月1日 令和6年6月1日	5年 毎年

42 第一次産業の就業者 Employees in Primary Industry

都道府県 Prefecture			就業者比率 Ratio of employees							
			第一次産業 Primary industry		農業 Agriculture		林業 Forestry		漁業 Fisheries	
			(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank
北海道	Hokkaido		6.85	15	5.37	19	0.28	9	1.20	2
青森県	Aomori		11.36	1	9.95	1	0.28	10	1.14	3
岩手県	Iwate		9.74	4	8.49	4	0.49	3	0.76	7
宮城県	Miyagi		4.18	28	3.51	29	0.14	24	0.54	13
秋田県	Akita		8.79	6	8.18	7	0.49	4	0.12	31
山形県	Yamagata		8.79	7	8.49	5	0.21	18	0.09	34
福島県	Fukushima		6.35	19	5.96	15	0.26	12	0.13	29
茨城県	Ibaraki		5.24	23	5.08	22	0.05	38	0.11	33
栃木県	Tochigi		5.35	21	5.21	20	0.12	26	0.02	43
群馬県	Gumma		4.60	25	4.45	24	0.13	25	0.01	46
埼玉県	Saitama		1.54	44	1.52	44	0.01	44	0.00	47
千葉県	Chiba		2.51	37	2.38	36	0.02	42	0.12	32
東京都	Tokyo		0.38	47	0.36	47	0.01	46	0.01	45
神奈川県	Kanagawa		0.79	45	0.75	45	0.01	45	0.03	38
新潟県	Niigata		5.25	22	5.01	23	0.10	32	0.14	28
富山県	Toyama		2.98	33	2.73	32	0.10	31	0.16	26
石川県	Ishikawa		2.70	36	2.24	40	0.12	27	0.34	21
福井県	Fukui		3.26	31	2.87	31	0.15	21	0.24	23
山梨県	Yamanashi		6.74	17	6.50	14	0.21	17	0.03	39
長野県	Nagano		8.55	8	8.27	6	0.26	13	0.02	42
岐阜県	Gifu		2.88	34	2.68	33	0.18	19	0.02	40
静岡県	Shizuoka		3.53	30	3.23	30	0.09	34	0.20	24
愛知県	Aichi		1.97	42	1.86	42	0.02	43	0.09	35
三重県	Mie		3.24	32	2.57	34	0.11	28	0.56	11
滋賀県	Shiga		2.48	39	2.34	37	0.07	35	0.06	37
京都府	Kyoto		2.03	41	1.90	41	0.07	36	0.07	36
大阪府	Osaka		0.51	46	0.48	46	0.01	47	0.02	41
兵庫県	Hyogo		1.90	43	1.67	43	0.05	39	0.18	25
奈良県	Nara		2.45	40	2.29	39	0.15	22	0.01	44
和歌山县	Wakayama		8.39	10	7.70	9	0.24	14	0.45	17
鳥取県	Tottori		7.92	11	7.23	11	0.32	7	0.38	19
島根県	Shimane		6.62	18	5.46	17	0.43	5	0.73	8
岡山県	Okayama		4.25	26	3.97	26	0.15	23	0.13	30
広島県	Hiroshima		2.78	35	2.42	35	0.09	33	0.27	22
山口県	Yamaguchi		4.15	29	3.51	28	0.16	20	0.48	15
徳島県	Tokushima		7.66	12	6.82	12	0.24	15	0.59	10
香川県	Kagawa		4.84	24	4.44	25	0.05	37	0.34	20
愛媛県	Ehime		6.97	14	5.89	16	0.23	16	0.85	5
高知県	Kochi		10.54	2	8.69	3	0.80	1	1.04	4
福岡県	Fukuoka		2.51	38	2.32	38	0.04	40	0.15	27
佐賀県	Saga		7.57	13	6.69	13	0.10	30	0.77	6
長崎県	Nagasaki		6.76	16	5.09	21	0.11	29	1.57	1
熊本県	Kumamoto		8.94	5	8.17	8	0.30	8	0.47	16
大分県	Oita		6.25	20	5.38	18	0.33	6	0.54	12
宮崎県	Miyazaki		10.06	3	8.79	2	0.74	2	0.53	14
鹿児島県	Kagoshima		8.47	9	7.58	10	0.27	11	0.63	9
沖縄県	Okinawa		4.20	27	3.75	27	0.03	41	0.42	18
全国	Japan		3.51		3.17		0.11		0.24	

熊本県の第一次産業就業者数の推移



解説

【概要】

令和2年の県内の第一次産業就業者数は72千人で、就業者総数に占める割合（第一次産業就業者比率）は8.94%となり、全国平均の3.51%を大きく上回った。

産業内訳では、農業就業者が65,575人と約91%を占めた。

年次推移をみると、就業者数は、減少傾向が続いていること、後継者育成等が重要な課題となっている。

○就業者

調査週間中、賃金、給料、諸手当、営業収益、手数料、内職収入などの収入（現物収入を含む）になる仕事を少しでも行った者。休業者も含む。また、家族の人が、自営業の手伝いをした場合は、無給であっても含む。

○第一次産業

農業、林業及び水産業。

（林業は、「農業、林業」から「うち農業」を引いて算出した。）

○第一次産業就業者比率

第一次産業就業者数
÷就業者総数 × 100

○農業就業者比率

農業就業者数 ÷ 就業者総数 × 100

○林業就業者比率

林業就業者数 ÷ 就業者総数 × 100

○水産業就業者比率

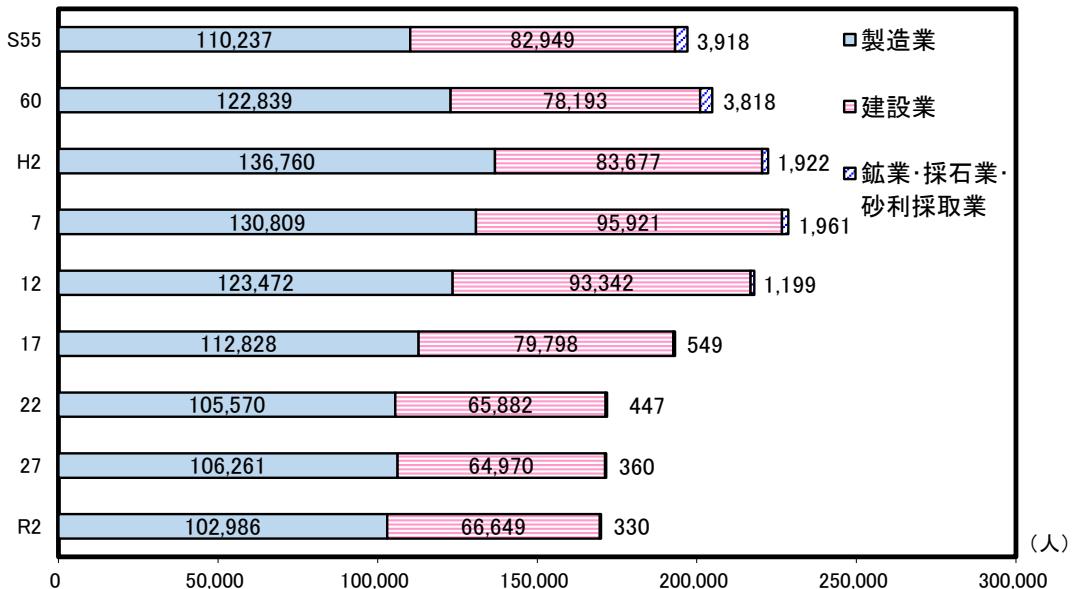
水産業就業者数 ÷ 就業者総数 × 100

資料出所	調査期日	調査周期
「国勢調査」 総務省統計局	令和2年10月1日	5年

43 第二次産業の就業者 Employees in Secondary Industry

都道府県 Prefecture			就業者比率 Ratio of employees							
			第二次産業 Secondary industry		鉱業・採石業・砂利採取業 Mining and Quarrying of stone and gravel		建設業 Construction		製造業 Manufacturing	
			(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank
北海道	Hokkaido	16.99	44	0.07	11	8.77	12	8.15	46	
青森県	Aomori	20.04	39	0.07	7	9.69	4	10.28	43	
岩手県	Iwate	24.77	22	0.10	4	9.44	7	15.23	29	
宮城県	Miyagi	22.47	32	0.03	28	10.02	2	12.42	37	
秋田県	Akita	24.02	23	0.10	5	9.69	3	14.24	32	
山形県	Yamagata	28.65	13	0.05	13	8.70	13	19.90	13	
福島県	Fukushima	29.67	10	0.05	12	10.38	1	19.23	15	
茨城県	Ibaraki	28.77	12	0.04	24	7.76	29	20.96	11	
栃木県	Tochigi	31.29	8	0.08	6	7.07	38	24.13	7	
群馬県	Gumma	31.17	9	0.02	36	7.24	37	23.90	8	
埼玉県	Saitama	22.98	29	0.02	39	7.48	34	15.48	27	
千葉県	Chiba	19.08	43	0.03	26	7.48	33	11.57	40	
東京都	Tokyo	15.24	46	0.02	34	5.53	47	9.69	44	
神奈川県	Kanagawa	20.18	38	0.01	41	6.75	42	13.42	35	
新潟県	Niigata	28.45	14	0.12	1	9.68	5	18.65	17	
富山県	Toyama	33.27	1	0.05	17	8.43	16	24.80	5	
石川県	Ishikawa	27.97	16	0.03	29	8.28	21	19.66	14	
福井県	Fukui	31.60	7	0.03	31	9.47	6	22.10	9	
山梨県	Yamanashi	28.01	15	0.05	16	7.66	32	20.31	12	
長野県	Nagano	28.77	11	0.04	25	7.45	35	21.29	10	
岐阜県	Gifu	32.59	4	0.05	15	8.01	24	24.53	6	
静岡県	Shizuoka	32.66	3	0.02	37	7.25	36	25.39	3	
愛知県	Aichi	32.43	5	0.01	45	6.77	41	25.65	2	
三重県	Mie	31.84	6	0.04	20	6.94	39	24.87	4	
滋賀県	Shiga	32.92	2	0.02	33	5.85	46	27.04	1	
京都府	Kyoto	22.48	31	0.01	40	5.95	45	16.52	22	
大阪府	Osaka	22.58	30	0.00	47	6.86	40	15.71	25	
兵庫県	Hyogo	24.99	21	0.01	43	6.43	43	18.54	18	
奈良県	Nara	22.09	34	0.01	46	5.99	44	16.09	23	
和歌山县	Wakayama	22.21	33	0.01	44	7.69	30	14.50	30	
鳥取県	Tottori	21.71	35	0.02	38	7.88	26	13.81	34	
島根県	Shimane	23.51	26	0.07	10	9.10	9	14.34	31	
岡山県	Okayama	27.02	17	0.04	19	7.96	25	19.02	16	
広島県	Hiroshima	26.06	19	0.01	42	7.69	31	18.36	19	
山口県	Yamaguchi	26.25	18	0.07	8	9.00	10	17.18	21	
徳島県	Tokushima	23.34	27	0.04	23	7.85	27	15.46	28	
香川県	Kagawa	25.10	20	0.04	21	7.82	28	17.24	20	
愛媛県	Ehime	23.93	25	0.03	30	8.05	23	15.85	24	
高知県	Kochi	16.99	45	0.11	3	8.38	18	8.50	45	
福岡県	Fukuoka	20.02	40	0.03	32	8.20	22	11.79	39	
佐賀県	Saga	24.00	24	0.03	27	8.39	17	15.58	26	
長崎県	Nagasaki	19.29	41	0.04	18	8.46	15	10.79	41	
熊本県	Kumamoto	21.18	36	0.04	22	8.30	20	12.83	36	
大分県	Oita	23.06	28	0.12	2	8.87	11	14.08	33	
宮崎県	Miyazaki	20.77	37	0.02	35	8.53	14	12.22	38	
鹿児島県	Kagoshima	19.14	42	0.07	9	8.31	19	10.75	42	
沖縄県	Okinawa	14.32	47	0.05	14	9.39	8	4.88	47	
全国	Japan	23.72		0.03		7.48		16.20		

熊本県の第二次産業就業者数の推移



解 説

【概要】

令和2年の県内の第二次産業就業者数は170千人であった。

また、第二次産業就業者が就業者総数に占める割合（第二次産業就業者比率）は21.18%となり、全国平均の23.72%を下回った。

同就業者数の推移を産業別にみると、製造業は平成2年頃をピークに減少傾向であり、また、建設業は平成7年頃をピークに減少傾向にあったが令和2年に増加した。

○就業者

調査週間中、賃金、給料、諸手当、営業収益、手数料、内職収入などの収入（現物収入を含む）になる仕事を少しでも行った者。休業者も含む。また、家族の人が、自営業の手伝いをした場合は、無給であっても含む。

○第二次産業

鉱業・採石業・砂利採取業、建設業及び製造業。

（鉱業・採石業・砂利採取業はH17国勢調査までは、鉱業と分類されていた。）

○第二次産業就業者比率

第二次産業就業者数
÷就業者総数 × 100

○鉱業・採石業・砂利採取業者比率

鉱業・採石業・砂利採取業者数
÷就業者総数 × 100

○建設業就業者比率

建設業就業者数 ÷ 就業者総数 × 100

○製造業就業者比率

製造業就業者数 ÷ 就業者総数 × 100

資料出所	調査期日	調査周期
「国勢調査」 総務省統計局	令和2年10月1日	5年

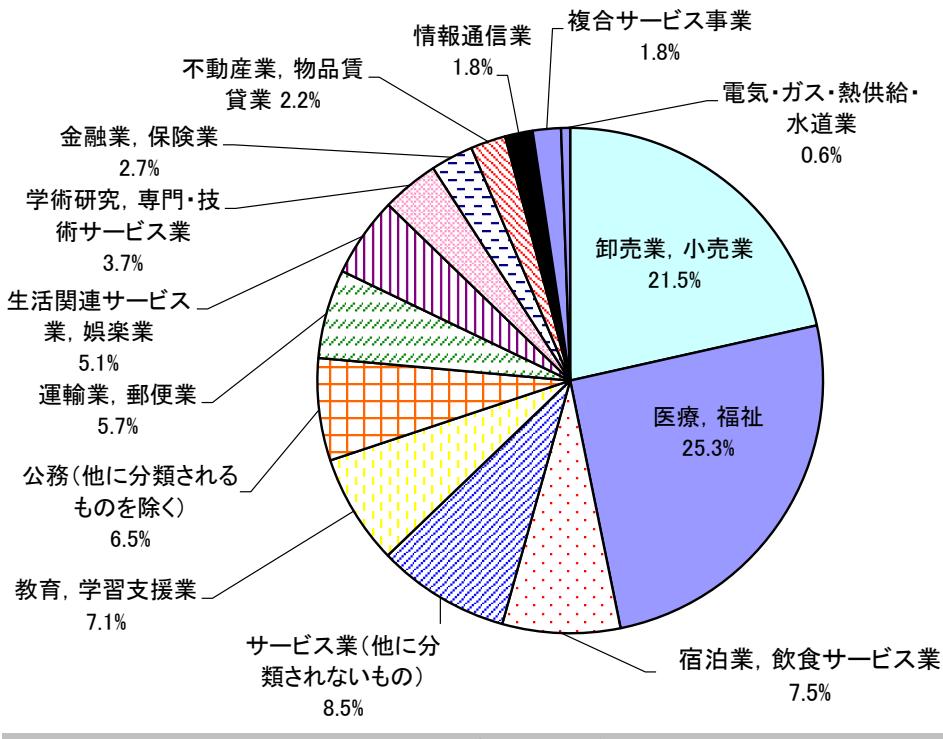
44 第三次産業の就業者 Employees in Tertiary Industry

都道府県 Prefecture			就業者比率 Ratio of employees							
			第三次産業 Tertiary industry		卸売・小売業 *1		医療・福祉 *2		サービス業(他に分類され ないもの) Services,n.e.c	
			(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank
北海道	Hokkaido	76.16	7	16.27	10	15.43	19	7.99	3	
青森県	Aomori	68.60	29	15.74	14	14.74	20	6.59	12	
岩手県	Iwate	65.49	35	15.04	29	14.33	26	5.69	36	
宮城県	Miyagi	73.34	12	17.24	3	12.82	39	7.17	9	
秋田県	Akita	67.19	31	15.56	18	15.86	16	6.01	25	
山形県	Yamagata	62.56	47	14.68	38	14.16	27	5.32	45	
福島県	Fukushima	63.99	42	14.54	42	12.89	37	6.39	15	
茨城県	Ibaraki	65.99	33	14.65	39	11.84	44	5.69	38	
栃木県	Tochigi	63.36	45	14.55	41	11.90	43	5.36	43	
群馬県	Gumma	64.23	41	14.78	36	13.63	30	5.32	44	
埼玉県	Saitama	75.48	9	16.47	7	12.06	42	7.45	8	
千葉県	Chiba	78.41	4	16.41	9	12.09	41	7.68	5	
東京都	Tokyo	84.37	1	15.18	26	11.23	47	8.39	2	
神奈川県	Kanagawa	79.02	3	15.63	16	12.51	40	7.84	4	
新潟県	Niigata	66.31	32	16.16	13	13.87	28	5.87	30	
富山県	Toyama	63.74	44	14.78	35	13.41	33	6.06	21	
石川県	Ishikawa	69.33	24	16.45	8	13.61	31	6.01	24	
福井県	Fukui	65.14	37	14.80	34	13.48	32	5.72	34	
山梨県	Yamanashi	65.25	36	14.48	45	13.00	36	5.19	46	
長野県	Nagano	62.68	46	14.25	47	13.66	29	4.90	47	
岐阜県	Gifu	64.52	40	15.22	23	12.83	38	5.54	41	
静岡県	Shizuoka	63.82	43	15.04	28	11.84	45	5.60	40	
愛知県	Aichi	65.60	34	15.55	19	11.47	46	6.16	18	
三重県	Mie	64.92	38	14.51	43	13.19	34	6.01	23	
滋賀県	Shiga	64.61	39	14.41	46	13.07	35	5.88	29	
京都府	Kyoto	75.48	8	16.62	5	14.57	23	6.49	13	
大阪府	Osaka	76.91	6	17.43	2	14.38	25	7.48	7	
兵庫県	Hyogo	73.11	13	16.23	11	14.45	24	6.65	11	
奈良県	Nara	75.46	10	17.05	4	15.61	17	6.80	10	
和歌山县	Wakayama	69.40	23	15.20	25	16.21	14	5.99	26	
鳥取県	Tottori	70.37	18	14.93	31	16.79	9	6.06	20	
島根県	Shimane	69.87	21	14.50	44	17.49	6	6.39	14	
岡山県	Okayama	68.73	28	15.70	15	15.46	18	5.86	31	
広島県	Hiroshima	71.15	16	16.51	6	14.67	22	6.30	17	
山口県	Yamaguchi	69.60	22	15.43	20	16.39	12	6.03	22	
徳島県	Tokushima	69.00	27	14.82	33	17.51	5	5.69	37	
香川県	Kagawa	70.06	19	16.20	12	14.72	21	5.69	35	
愛媛県	Ehime	69.10	26	15.36	22	16.41	11	5.91	28	
高知県	Kochi	72.48	14	15.61	17	18.44	3	5.39	42	
福岡県	Fukuoka	77.48	5	17.47	1	16.02	15	7.49	6	
佐賀県	Saga	68.43	30	14.60	40	16.61	10	5.77	33	
長崎県	Nagasaki	73.95	11	15.20	24	18.52	2	6.31	16	
熊本県	Kumamoto	69.88	20	15.02	30	17.69	4	5.94	27	
大分県	Oita	70.68	17	15.07	27	17.28	7	6.12	19	
宮崎県	Miyazaki	69.17	25	14.87	32	17.02	8	5.84	32	
鹿児島県	Kagoshima	72.39	15	15.42	21	18.73	1	5.62	39	
沖縄県	Okinawa	81.48	2	14.74	37	16.34	13	8.99	1	
全国	Japan	72.77		15.75		13.65		6.80		

*1 Wholesale trade,general,merchandise

*2 Medical , health care and welfare

熊本県の第三次産業就業者の構成（令和2年）



解説

【概要】

令和2年の県内の第三次産業就業者数は561千人であった。

また、第三次産業就業者が就業者総数に占める割合（第三次産業就業者比率）は、前回調査時の69.12%から0.76ポイント増加し69.88%となった。しかし、この値は全国平均の72.77%を下回った。

○就業者

調査週間中、賃金、給料、諸手当、営業収益、手数料、内職収入などの収入（現物収入を含む）になる仕事を少しでも行った者。休業者も含む。また、家族の人が、自営業の手伝いをした場合は、無給であっても含む。

○第三次産業

電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業・郵便業、卸売・小売業、金融・保険業、不動産業・物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、生活関連サービス業・娯楽業、宿泊業・飲食サービス業、医療・福祉、教育・学習支援業、複合サービス事業、サービス業（他に分類さ

れないもの）、公務（他に分類されないもの）

○第三次産業就業者比率

$$\frac{\text{第三次産業就業者数}}{\text{就業者総数}} \times 100$$

○卸売・小売業就業者比率

$$\frac{\text{卸売・小売業就業者数}}{\text{就業者総数}} \times 100$$

○医療・福祉就業者比率

$$\frac{\text{医療・福祉就業者数}}{\text{就業者総数}} \times 100$$

○サービス業（他に分類されないもの）就業者比率

$$\frac{\text{サービス業就業者数（他に分類されないもの）}}{\text{就業者総数}} \times 100$$

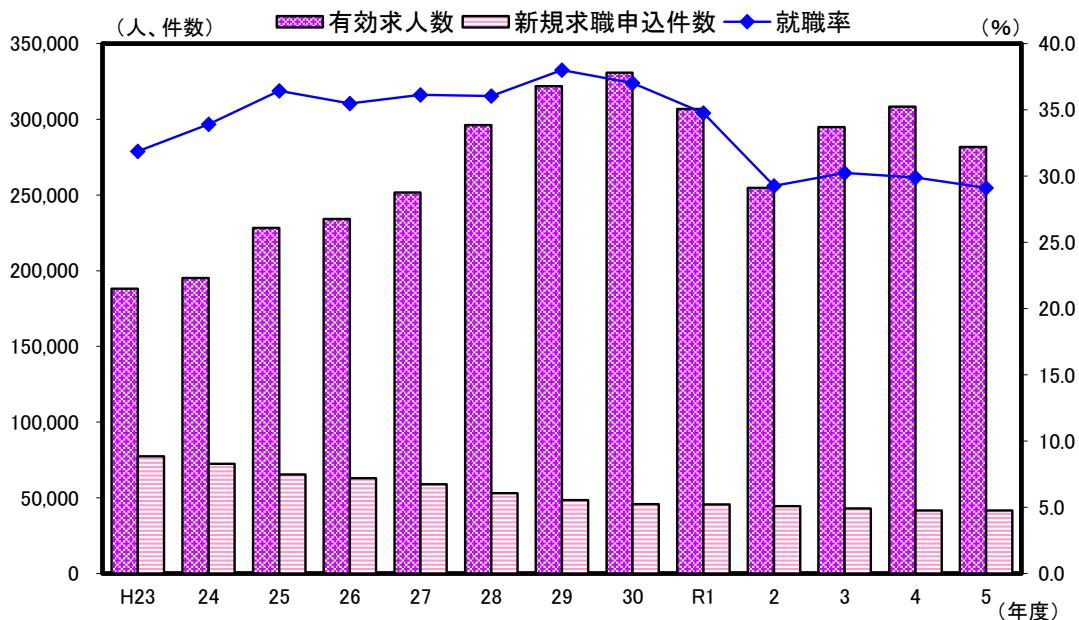
資料出所	調査期日	調査周期
「国勢調査」 総務省統計局	令和2年10月1日	5年

45 求人 Job Openings

都道府県 Prefecture			有効求人倍率 Ratio of active job openings		就職率 Ratio of persons found employment		新規求人倍率 Ratio of new job openings		県外就職者比率 *1 (%)	
			(倍)	順位 Rank	(%)	順位 Rank	(倍)	順位 Rank	(%)	順位 Rank
北海道	Hokkaido	0.99	45		17.4	41	1.71	46	5.0	47
青森県	Aomori	1.11	39		29.8	15	1.79	44	8.2	40
岩手県	Iwate	1.19	29		33.6	6	1.81	42	10.8	26
宮城県	Miyagi	1.25	25		23.7	29	2.01	29	11.4	22
秋田県	Akita	1.26	24		35.1	4	1.94	33	7.5	43
山形県	Yamagata	1.33	15		32.2	9	1.96	32	6.9	44
福島県	Fukushima	1.27	21		29.0	18	1.92	37	10.6	27
茨城県	Ibaraki	1.33	15		21.8	35	2.13	24	17.8	7
栃木県	Tochigi	1.14	35		23.8	28	2.06	26	16.1	11
群馬県	Gumma	1.35	12		21.3	36	2.15	22	16.5	10
埼玉県	Saitama	1.02	41		14.7	45	1.92	37	32.4	1
千葉県	Chiba	0.98	46		15.8	44	1.92	37	32.1	2
東京都	Tokyo	1.76	1		13.6	46	3.64	1	13.5	12
神奈川県	Kanagawa	0.91	47		12.6	47	1.69	47	29.9	3
新潟県	Niigata	1.46	5		28.9	19	2.33	13	6.3	46
富山県	Toyama	1.39	11		30.3	14	2.29	14	9.0	35
石川県	Ishikawa	1.50	4		25.8	25	2.50	6	9.7	33
福井県	Fukui	1.74	2		35.5	2	2.54	5	8.3	39
山梨県	Yamanashi	1.27	21		24.2	27	2.19	20	11.3	23
長野県	Nagano	1.32	17		27.2	22	2.20	19	6.8	45
岐阜県	Gifu	1.54	3		23.7	30	2.65	3	13.0	14
静岡県	Shizuoka	1.13	37		19.3	39	2.01	29	10.6	28
愛知県	Aichi	1.27	21		16.7	42	2.36	12	10.1	31
三重県	Mie	1.17	32		23.4	31	1.94	33	12.6	16
滋賀県	Shiga	1.00	42		22.3	33	1.74	45	17.6	9
京都府	Kyoto	1.21	27		20.1	38	2.42	10	17.8	8
大阪府	Osaka	1.20	28		16.3	43	2.59	4	12.1	17
兵庫県	Hyogo	1.00	42		18.6	40	1.80	43	19.0	5
奈良県	Nara	1.14	35		22.5	32	1.94	33	28.1	4
和歌山县	Wakayama	1.13	37		26.3	23	1.97	31	13.0	13
鳥取県	Tottori	1.28	20		34.1	5	2.38	11	11.8	20
島根県	Shimane	1.44	8		35.3	3	2.49	8	12.7	15
岡山県	Okayama	1.44	8		26.1	24	2.43	9	11.7	21
広島県	Hiroshima	1.45	6		25.2	26	2.69	2	8.9	36
山口県	Yamaguchi	1.45	6		31.7	11	2.28	15	12.1	18
徳島県	Tokushima	1.15	33		30.7	13	2.21	18	9.8	32
香川県	Kagawa	1.43	10		29.4	17	2.27	16	10.5	29
愛媛県	Ehime	1.35	12		29.6	16	2.50	6	8.6	38
高知県	Kochi	1.09	40		28.0	20	1.94	33	8.1	41
福岡県	Fukuoka	1.18	31		20.7	37	2.22	17	12.0	19
佐賀県	Saga	1.30	18		31.1	12	2.02	28	18.7	6
長崎県	Nagasaki	1.19	29		33.0	7	1.84	41	10.8	25
熊本県	Kumamoto	1.23	26		27.9	21	2.14	23	11.2	24
大分県	Oita	1.35	12		32.7	8	2.07	25	10.4	30
宮崎県	Miyazaki	1.30	18		36.2	1	2.18	21	9.1	34
鹿児島県	Kagoshima	1.15	33		32.0	10	2.04	27	8.6	37
沖縄県	Okinawa	1.00	42		22.1	34	1.85	40	7.6	42
全国	Japan	1.25			21.6		2.25		13.1	

*1 Ratio of new employments in the establishment not located in their living prefecture

熊本県の求人・求職状況の推移（新規学卒及びパートタイムを除く）



「令和5年度 職業安定業務年報」（熊本労働局）より
解説

【概要】

求人・求職動向は、一般的に景気動向に大きく左右される。

本県の有効求人数について、平成21年度を境に、平成22年度からは9年連続で増加していたが、令和に入り元年度、2年度と大きく減少した。令和3年度、4年度には回復に転じたと思われたが、令和5年度は再び減少した。一方、新規求職申込件数は、平成21年度から減少が続いている。

有効求人倍率をみると、令和6年は1.23倍であり、前年の1.34倍より0.11ポイント下降した。

○有効求人倍率

有効求人数 ÷ 有効求職者数

○就職率

就職件数 ÷ 新規求職申込件数 × 100

○新規求人倍率

新規求人数 ÷ 新規求職者数

○県外就職者比率

他県への就職件数 ÷ 就職件数

○新規求職申込件数

期間中に新たに受け付けた求職申込みの件数。

○月間有効求人数

「前月からの繰り越された有効求人件数」と、当月の「新規求人件数」の合計。

○新規求人件数

期間中に新たに受けた求人件数（採用予定人員）。

○パートタイム

1週間の所定労働時間が同一の事業所に雇用されている通常の労働者の1週間の所定労働時間に比し短い者。

資料出所	調査期日	調査周期
「職業安定業務統計」 厚生労働省	令和6年	毎年

46 県外への就業・通学 Commuters from/to outside Kumamoto Prefecture

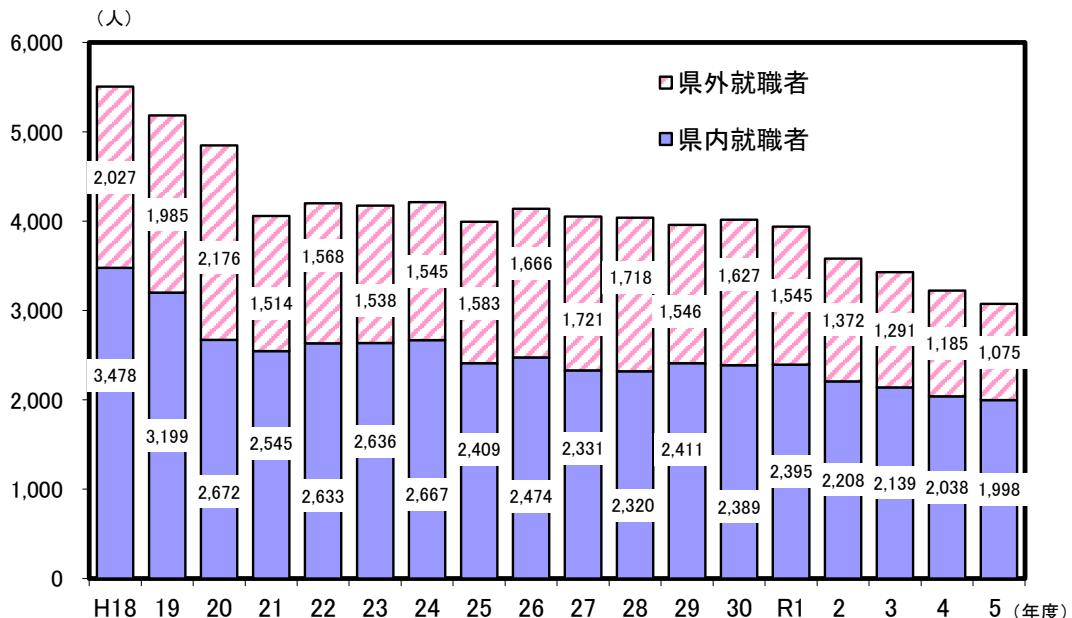
都道府県 Prefecture		県外への就業・通学 割合 *5		高卒者の県外への 就職率 *6		県外からの就業・通学 割合 *7		昼夜間人口比率 Rate of daytime population to night population *4	
		(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank
北海道	Hokkaido	0.16	46	6.7	45	0.07	47	100.0	15
青森県	Aomori	0.91	41	41.1	1	0.48	41	99.9	20
岩手県	Iwate	1.59	27	28.7	11	0.82	33	99.8	25
宮城県	Miyagi	1.37	33	20.3	20	0.98	29	100.1	8
秋田県	Akita	0.76	43	28.6	12	0.30	44	99.8	25
山形県	Yamagata	1.19	38	19.9	21	0.52	39	99.7	30
福島県	Fukushima	1.47	29	17.2	28	1.06	25	100.1	8
茨城県	Ibaraki	7.80	9	11.8	37	3.06	11	97.8	40
栃木県	Tochigi	5.73	11	17.0	30	2.96	12	99.1	37
群馬県	Gumma	4.83	13	11.8	36	3.20	9	100.0	15
埼玉県	Saitama	20.09	2	31.0	9	3.91	6	89.6	47
千葉県	Chiba	18.45	3	17.5	27	3.27	8	90.3	46
東京都	Tokyo	4.69	14	13.9	32	16.93	1	116.1	1
神奈川県	Kanagawa	16.75	4	19.4	23	3.75	7	91.7	44
新潟県	Niigata	0.48	45	10.7	38	0.27	45	100.0	15
富山县	Toyama	1.42	30	6.1	46	0.75	34	99.8	25
石川県	Ishikawa	1.29	35	9.9	41	1.05	26	100.2	6
福井県	Fukui	1.28	36	9.6	42	1.02	28	100.1	8
山梨県	Yamanashi	2.99	17	12.9	34	1.31	21	99.3	36
長野県	Nagano	1.05	39	10.3	40	0.46	42	99.7	30
岐阜県	Gifu	8.82	7	25.5	14	2.67	13	96.6	42
静岡県	Shizuoka	1.72	24	10.6	39	0.94	31	99.8	25
愛知県	Aichi	1.67	25	4.9	47	2.31	15	101.2	4
三重県	Mie	4.65	15	13.4	33	1.77	17	98.6	38
滋賀県	Shiga	8.90	6	9.2	43	3.11	10	96.9	41
京都府	Kyoto	8.11	8	20.9	19	7.23	2	101.7	3
大阪府	Osaka	4.19	16	8.4	44	6.56	3	103.9	2
兵庫県	Hyogo	9.50	5	18.9	24	2.53	14	96.1	43
奈良県	Nara	20.34	1	32.3	6	4.46	5	91.1	45
和歌山县	Wakayama	5.50	12	25.2	15	2.03	16	98.5	39
鳥取県	Tottori	2.48	18	22.1	17	1.49	18	99.8	25
島根県	Shimane	1.95	20	18.7	26	1.37	19	100.1	8
岡山県	Okayama	1.84	22	19.5	22	1.27	22	100.0	15
広島県	Hiroshima	1.39	32	12.3	35	1.09	24	100.2	6
山口県	Yamaguchi	2.36	19	17.2	29	1.12	23	99.6	33
徳島県	Tokushima	1.50	28	22.8	16	0.57	38	99.6	33
香川県	Kagawa	1.42	30	15.4	31	1.03	27	100.1	8
愛媛県	Ehime	0.81	42	21.6	18	0.60	37	100.1	8
高知県	Kochi	0.67	44	31.3	8	0.33	43	99.9	20
福岡県	Fukuoka	1.90	21	18.7	25	1.37	19	100.1	8
佐賀県	Saga	7.03	10	34.1	5	5.02	4	100.4	5
長崎県	Nagasaki	1.36	34	31.5	7	0.61	36	99.7	30
熊本県	Kumamoto	1.84	22	35.0	4	0.85	32	99.6	33
大分県	Oita	1.64	26	26.3	13	0.98	29	99.9	20
宮崎県	Miyazaki	1.20	37	36.9	3	0.70	35	99.9	20
鹿児島県	Kagoshima	0.97	40	37.8	2	0.52	39	99.9	20
沖縄県	Okinawa	0.15	47	29.2	10	0.09	46	100.0	15
全国	Japan	6.32		18.4		4.33		100.0	

*5 Ratio of employees and students commuting to outside Kumamoto prefecture

*6 Ratio of upper secondary school graduates who found employment outside Kumamoto prefecture

*7 Ratio of employees and students commuting from outside Kumamoto prefecture

熊本県の高校卒業者の就職状況の推移



解説

【概要】

令和6年3月の県内高等学校卒業者13,401人のうち3,073人が就職したが、このうち35.0%にあたる1,075人が県外に就職した。

就職先地方別で最も多かったのが福岡県で283人、次いで東京都の180人、愛知県の172人で、この3都県で県外就職者数の半数以上を占めた。

就職者数の推移をみると、平成21年度まで減少を続けていたが、その後、横ばい傾向であったものの令和元年度から再び減少に転じている。

○県外への就業・通学割合

他県へ通勤・通学をする者の数÷夜間人口のうち通勤・通学する人口×100

○高卒者県外就職率

高卒者県外就職者数÷高卒者就職者総数×100

○夜間人口

県内に常住する人口（人が寝泊まりする場所での人口）

○県外からの就業・通学割合

昼間人口のうち他県に常住する者の数÷昼間人口×100

○昼間人口

県内常住人口ー県外への通勤・通学者+県外からの通勤・通学者（※夜間勤務、夜間通学については、便宜上昼間人口とみなし、含んでいる。また買い物客などの非定常的な移動については含んでいない。）

○昼夜間人口比率

夜間人口100人当たりの昼間人口の割合

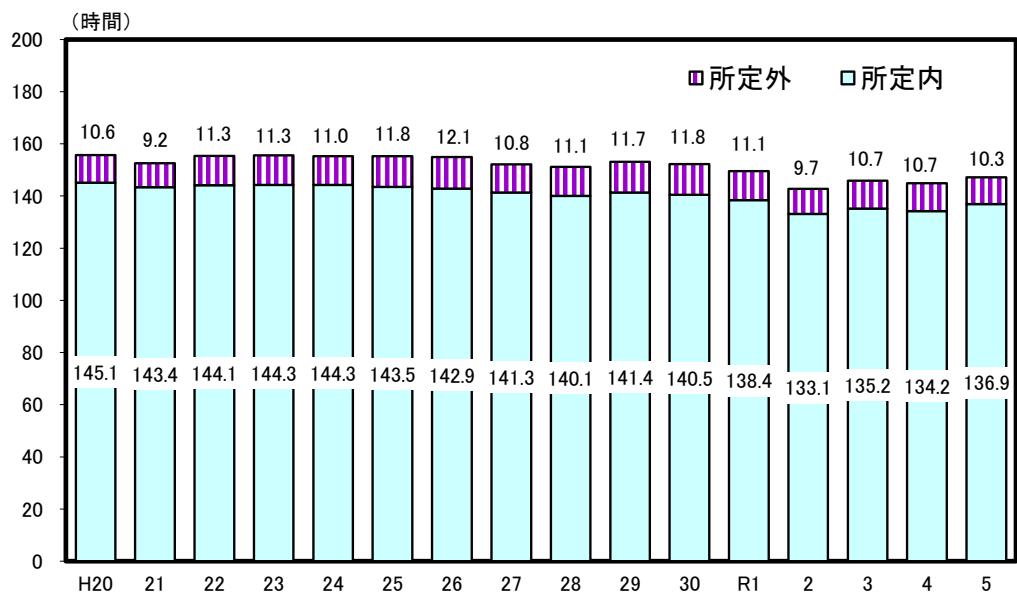
資料出所	調査期日	調査周期
*1、*3、*4 「国勢調査」 総務省統計局 *2 「学校基本調査」 文部科学省	令和2年10月1日 令和6年5月1日	5年 毎年

47 労働時間 Working Hours

都道府県 Prefecture			労働者一人当たり月平均総実労働時間 Monthly average working hours per employee						労働者一人当たり 月平均所定外労働時間			
			全体 Total		男 Male		女 Female					
			(時間) (hours)	順位 Rank	(時間) (hours)	順位 Rank	(時間) (hours)	順位 Rank				
北海道	Hokkaido	141.0	37	154.0	36	127.4	28	9.7	41			
青森県	Aomori	148.3	4	161.3	5	136.2	2	10.2	37			
岩手県	Iwate	147.3	6	157.5	22	136.0	3	11.0	23			
宮城県	Miyagi	144.9	19	158.5	15	129.5	24	11.3	18			
秋田県	Akita	144.2	25	154.3	35	134.0	7	7.8	46			
山形県	Yamagata	152.6	1	163.9	2	140.3	1	11.8	10			
福島県	Fukushima	148.6	3	159.0	9	135.3	4	11.7	12			
茨城県	Ibaraki	142.7	31	155.3	32	125.8	34	11.6	14			
栃木県	Tochigi	147.1	10	161.5	4	126.7	32	12.3	9			
群馬県	Gumma	150.7	2	162.1	3	134.0	7	14.1	2			
埼玉県	Saitama	136.8	43	153.3	40	118.9	43	10.8	26			
千葉県	Chiba	136.8	43	153.4	38	118.9	43	11.3	18			
東京都	Tokyo	147.3	6	157.4	23	133.6	10	13.7	4			
神奈川県	Kanagawa	137.8	42	153.1	41	118.2	46	12.4	8			
新潟県	Niigata	145.8	15	157.6	21	132.2	16	9.7	41			
富山県	Toyama	148.1	5	159.5	8	133.4	11	10.8	26			
石川県	Ishikawa	143.1	29	157.1	25	128.5	25	10.3	34			
福井県	Fukui	146.6	11	157.9	20	134.1	6	11.7	12			
山梨県	Yamanashi	144.0	27	158.2	18	127.0	31	12.6	6			
長野県	Nagano	147.3	6	159.0	9	133.2	13	11.2	20			
岐阜県	Gifu	144.0	27	157.1	25	127.9	26	10.4	31			
静岡県	Shizuoka	146.5	13	158.9	11	129.8	21	12.5	7			
愛知県	Aichi	145.1	18	158.3	17	122.6	37	14.0	3			
三重県	Mie	142.4	33	156.7	28	122.2	38	11.8	10			
滋賀県	Shiga	138.4	41	151.9	43	120.5	41	11.2	20			
京都府	Kyoto	133.9	46	146.5	47	119.9	42	11.0	23			
大阪府	Osaka	139.1	39	152.1	42	124.2	35	10.3	34			
兵庫県	Hyogo	136.2	45	151.6	44	118.3	45	10.4	31			
奈良県	Nara	131.7	47	147.1	46	117.0	47	7.6	47			
和歌山县	Wakayama	146.1	14	166.2	1	123.1	36	14.2	1			
鳥取県	Tottori	144.2	25	156.4	30	133.1	14	9.3	43			
島根県	Shimane	144.5	22	153.4	38	133.3	12	10.7	28			
岡山県	Okayama	144.3	23	156.5	29	129.6	22	11.5	16			
広島県	Hiroshima	142.3	34	158.9	11	121.7	39	12.7	5			
山口県	Yamaguchi	142.5	32	154.8	34	126.7	32	10.4	31			
徳島県	Tokushima	146.6	11	156.9	27	135.1	5	10.2	37			
香川県	Kagawa	144.3	23	157.2	24	129.6	22	11.1	22			
愛媛県	Ehime	139.1	39	155.6	31	121.6	40	10.0	39			
高知県	Kochi	140.3	38	150.0	45	131.3	18	8.1	45			
福岡県	Fukuoka	141.2	36	153.6	37	127.6	27	9.9	40			
佐賀県	Saga	143.0	30	158.9	11	127.3	30	10.6	30			
長崎県	Nagasaki	145.6	16	161.1	6	131.1	19	11.0	23			
熊本県	Kumamoto	147.2	9	160.6	7	133.7	9	10.3	34			
大分県	Oita	144.8	21	158.1	19	131.1	19	11.6	14			
宮崎県	Miyazaki	145.3	17	158.5	15	132.4	15	10.7	28			
鹿児島県	Kagoshima	144.9	19	158.6	14	131.7	17	11.5	16			
沖縄県	Okinawa	141.9	35	155.0	33	127.4	28	9.3	43			
全国	Japan	143.8		156.3		128.0		12.1				

*1 Monthly average unscheduled working hours per employee

熊本県の一人当たり月平均労働時間の推移（事業所規模30人以上）



解 説

【概要】

令和5年の県内労働者の月平均総実労働時間は147.2時間（事業所規模30人以上）で、前年から2.3時間増加した。全国平均の143.8時間より3.4時間長かった。月平均所定外労働時間は10.3時間で、全国平均の12.1時間より2.2時間短かった。

平成20年からの推移をみると、平成30年までは155時間前後で推移していたが、令和元年に150時間を下回ると、以降は145時間ほどで推移している。

○総実労働時間数

調査期間中に労働者が実際に労働した時間数であり、次の「所定内労働時間数」と「所定外労働時間数」の合計となる。休憩時間は給与が支給されるか否かにかかわらず除かれる。有給休暇取得分も除かれる。

○所定内労働時間数

労働協約、就業規則等で定められた正規の始業時刻と終業時刻との間の実労働時間数。

○所定外労働時間数

早出、残業、臨時の呼出、休日出勤等の実労働時間数。

資料出所	調査期日	調査周期
「毎月勤労統計調査年報（地方調査）」 厚生労働省	令和5年	毎年

48 給与・賃金 Cash Earnings

*1

*2

*3

*4

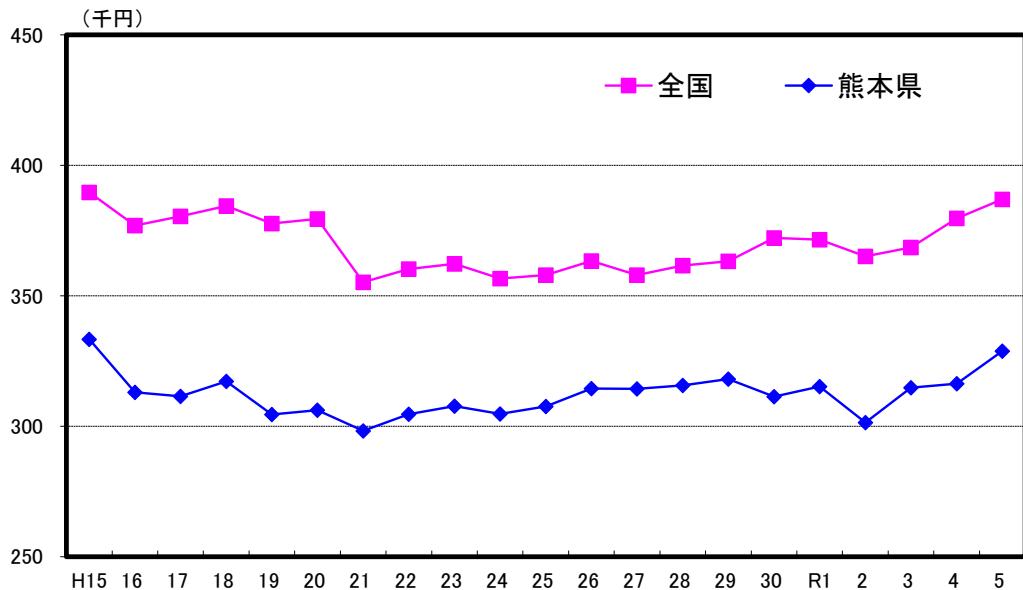
都道府県 Prefecture		労働者一人当たり 月平均現金給与総額 (事業所規模30人以上)		きまとて支給する 給与額 (事業所規模30人以上)		新規学卒者(高校) 所定内給与額(企業規模計10人以上)			
						男 Male		女 Female	
		(円) (yen)	順位 Rank	(円) (yen)	順位 Rank	(千円) (1,000yen)	順位 Rank	(千円) (1,000yen)	順位 Rank
北海道	Hokkaido	322,150	34	264,296	33	175.9	41	171.7	38
青森県	Aomori	289,318	46	243,644	45	177.4	38	164.7	41
岩手県	Iwate	310,437	37	255,774	37	180.9	33	178.0	31
宮城県	Miyagi	332,087	26	272,034	23	188.0	19	178.9	26
秋田県	Akita	296,043	42	245,985	41	172.1	46	161.8	45
山形県	Yamagata	334,352	24	269,464	26	175.1	43	176.1	35
福島県	Fukushima	326,694	28	268,725	27	183.9	28	183.3	21
茨城県	Ibaraki	365,418	5	292,662	5	186.9	24	178.8	27
栃木県	Tochigi	360,108	7	291,402	6	191.1	12	178.4	30
群馬県	Gumma	355,088	10	288,872	7	196.1	7	179.4	24
埼玉県	Saitama	322,911	32	267,808	28	202.5	2	196.3	4
千葉県	Chiba	333,704	25	273,391	21	190.6	13	190.5	6
東京都	Tokyo	494,145	1	384,235	1	195.7	8	181.7	22
神奈川県	Kanagawa	385,996	4	307,879	3	196.5	6	225.7	1
新潟県	Niigata	324,295	31	266,490	31	180.6	34	168.7	40
富山县	Toyama	347,147	15	280,515	13	188.6	18	183.8	18
石川県	Ishikawa	325,948	30	264,752	32	188.0	19	185.7	10
福井県	Fukui	346,120	16	280,041	15	187.6	21	184.2	17
山梨県	Yamanashi	344,836	17	280,164	14	193.4	9	184.7	13
長野県	Nagano	344,794	18	276,869	18	182.6	30	185.3	11
岐阜県	Gifu	335,911	22	269,920	25	181.2	32	180.1	23
静岡県	Shizuoka	357,248	9	286,479	10	192.3	11	184.3	14
愛知県	Aichi	405,708	2	318,288	2	187.0	23	183.7	19
三重県	Mie	351,801	11	286,775	9	213.7	1	183.7	19
滋賀県	Shiga	351,518	12	280,851	12	199.7	4	195.0	5
京都府	Kyoto	347,310	14	278,441	16	201.6	3	203.6	2
大阪府	Osaka	388,359	3	306,180	4	189.1	16	199.6	3
兵庫県	Hyogo	350,185	13	277,886	17	192.4	10	187.6	8
奈良県	Nara	297,517	39	246,523	40	189.0	17	184.8	12
和歌山县	Wakayama	322,168	33	267,677	29	179.3	36	184.3	14
鳥取県	Tottori	294,597	44	245,663	43	176.3	40	163.5	43
島根県	Shimane	325,963	29	264,083	34	174.8	44	173.3	37
岡山県	Okayama	334,457	23	271,126	24	185.6	25	177.3	33
広島県	Hiroshima	362,534	6	287,477	8	199.1	5	179.3	25
山口県	Yamaguchi	343,663	20	276,779	19	187.6	21	178.5	29
徳島県	Tokushima	357,928	8	284,131	11	183.4	29	184.3	14
香川県	Kagawa	341,525	21	273,093	22	184.1	27	187.2	9
愛媛県	Ehime	296,658	40	245,855	42	184.5	26	163.6	42
高知県	Kochi	318,567	36	261,026	36	175.3	42	174.1	36
福岡県	Fukuoka	343,765	19	275,904	20	190.4	14	177.0	34
佐賀県	Saga	304,927	38	249,664	38	180.6	34	160.8	46
長崎県	Nagasaki	295,002	43	244,121	44	173.3	45	157.1	47
熊本県	Kumamoto	328,798	27	266,878	30	177.2	39	177.6	32
大分県	Oita	320,255	35	264,083	34	190.4	14	170.0	39
宮崎県	Miyazaki	291,240	45	241,722	46	178.7	37	162.0	44
鹿児島県	Kagoshima	296,610	41	249,309	39	181.8	31	188.6	7
沖縄県	Okinawa	269,779	47	232,672	47	160.0	47	178.8	27
全国	Japan	386,982		308,436		189.0		183.2	

*1 Monthly average cash earnings per employee(More than 30 offices)

*2 Monthly contractual cash earnings(More than 30 offices)

*3、4 Starting Salary of New School Graduates cash earnings(10 persons and over)

一人当たり月平均現金給与総額（事業所規模30人以上）



解 説

【概要】

令和5年の県内労働者一人当たり月平均現金給与総額（事業所規模30人以上）は、328,798円であり、前年度から12,514円増加したが、全国平均（386,982円）を下回っている。

平成15年以降の推移をみると、月平均現金給与総額は減少傾向にあったが、平成21年に30万円を下回って以降は緩やかだが上昇傾向にある。令和2年に一時期減少したものの、令和3年以降は大きく上昇している。

また、全国平均を100とした場合の水準の推移をみると、平成15年には85.6であったが平成19年に80.6まで低下した。平成20年からは上昇に転じ、平成27年には87.8となったが、平成30年以降は低迷し、概ね83～85で推移している。令和5年は前年から1.7上昇し85.0となった。

○現金給与総額

きまつて支給する給与と特別に支払われた給与の合計額

○きまつて支給する給与

労働協約、就業規則等によってあらかじめ定められている支給条件、算定方法によって支給される給与といわゆる基本給、家族手当、超過労働手当を含む。

○所定内給与額

きまつて支給する現金給与額のうち、超過労働給与額を差し引いた額。

超過労働給与額とは、次の給与の額をいう。

- ア 時間外勤務手当
- イ 深夜勤務手当
- ウ 休日出勤手当
- エ 宿日直手当
- オ 交替手当

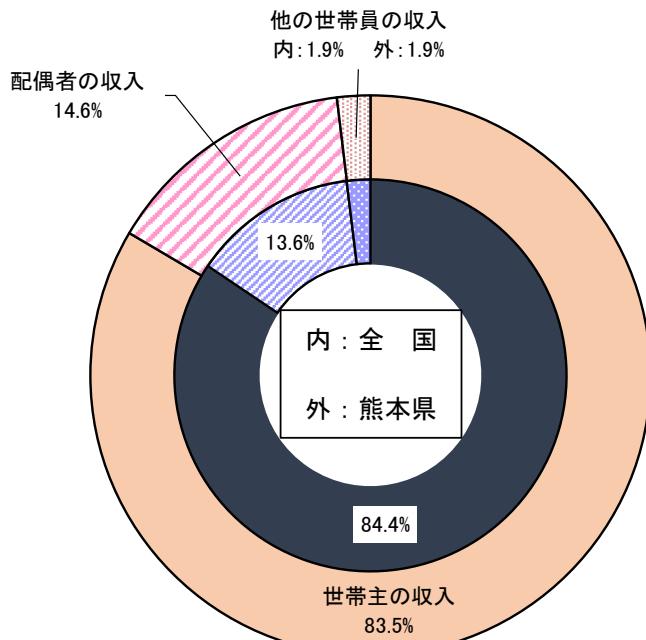
資料出所	調査期日	調査周期
*1、*2「毎月労働統計調査年報（地方調査）」 厚生労働省 *3、*4「賃金構造基本統計調査」 厚生労働省	令和5年 令和5年6月	毎年 毎年

49 家計 Family Income and Expenditure

都道府県 Prefecture			勤労者世帯の 勤め先収入		世帯主の配偶者 (うち女性)の収入割合		黒字率		エンゲル係数	
			Wages and salaries of workers' households		Ratio of yearly income by wife of household head		Surplus rate		Engel's coefficient	
			(円) (yen)	順位 Rank	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank
北海道	Hokkaido	453,975	35		10.7	38	38.3	22	27.0	17
青森県	Aomori	406,290	45		16.3	14	36.4	32	26.2	22
岩手県	Iwate	514,946	13		21.0	1	33.2	40	24.3	37
宮城県	Miyagi	512,323	15		8.1	46	39.6	17	23.4	44
秋田県	Akita	436,673	40		13.3	26	33.4	39	27.6	12
山形県	Yamagata	474,897	26		18.3	6	37.0	28	28.1	9
福島県	Fukushima	482,573	22		13.7	24	39.7	16	26.1	24
茨城県	Ibaraki	576,739	1		17.5	11	39.2	20	22.8	47
栃木県	Tochigi	534,966	9		18.4	5	41.9	8	23.9	40
群馬県	Gumma	506,868	16		18.3	7	28.2	47	26.7	19
埼玉県	Saitama	570,479	2		10.6	39	31.2	44	23.8	43
千葉県	Chiba	570,403	3		11.3	35	40.9	11	26.3	21
東京都	Tokyo	551,821	7		11.6	33	38.0	24	26.4	20
神奈川県	Kanagawa	538,588	8		9.5	42	43.7	2	28.2	6
新潟県	Niigata	463,564	30		18.7	4	41.2	10	27.2	16
富山県	Toyama	568,176	5		19.8	2	39.5	18	27.4	15
石川県	Ishikawa	529,157	10		17.6	10	41.6	9	26.2	22
福井県	Fukui	501,860	18		16.8	12	42.8	4	25.1	31
山梨県	Yamanashi	500,089	20		12.7	29	29.5	46	27.0	17
長野県	Nagano	502,074	17		17.7	9	36.5	30	24.6	35
岐阜県	Gifu	515,693	12		11.7	32	43.5	3	28.2	6
静岡県	Shizuoka	512,542	14		13.5	25	42.5	7	25.0	33
愛知県	Aichi	516,692	11		10.2	40	42.6	6	28.1	9
三重県	Mie	493,711	21		19.4	3	42.7	5	26.0	27
滋賀県	Shiga	501,131	19		9.0	44	40.9	11	24.7	34
京都府	Kyoto	476,457	25		11.1	36	37.0	28	33.1	1
大阪府	Osaka	453,468	36		10.0	41	39.3	19	30.1	3
兵庫県	Hyogo	430,709	41		6.3	47	40.3	13	30.7	2
奈良県	Nara	568,371	4		11.6	34	37.3	27	26.0	27
和歌山县	Wakayama	456,450	33		9.4	43	38.2	23	28.3	5
鳥取県	Tottori	428,257	42		12.3	30	34.7	34	23.2	45
島根県	Shimane	407,015	44		13.8	23	31.8	43	24.4	36
岡山県	Okayama	461,693	31		14.3	22	32.1	41	23.0	46
広島県	Hiroshima	456,228	34		15.1	17	40.2	14	28.4	4
山口県	Yamaguchi	466,601	28		14.4	20	37.8	26	25.1	31
徳島県	Tokushima	552,386	6		15.8	15	44.0	1	25.7	29
香川県	Kagawa	459,203	32		18.0	8	36.5	30	23.9	40
愛媛県	Ehime	419,985	43		15.0	18	36.2	33	27.6	12
高知県	Kochi	476,665	24		16.4	13	38.0	24	24.1	38
福岡県	Fukuoka	446,728	38		8.9	45	40.0	15	27.8	11
佐賀県	Saga	481,270	23		14.6	19	38.4	21	26.1	24
長崎県	Nagasaki	467,381	27		15.4	16	31.9	42	26.1	24
熊本県	Kumamoto	448,227	37		14.3	21	29.6	45	25.3	30
大分県	Oita	444,068	39		10.9	37	34.2	37	23.9	40
宮崎県	Miyazaki	394,372	46		11.7	31	33.5	38	28.2	6
鹿児島県	Kagoshima	464,727	29		13.1	28	34.3	36	24.1	38
沖縄県	Okinawa	378,999	47		13.1	27	34.6	35	27.6	12
全国	Japan	499,127			13.2		38.3		26.5	

* 注:各都道府県庁所在市の数値

勤め先収入の内訳（令和6年）



解説

【概要】

令和6年の熊本市内勤労者一世帯当たり年平均1か月間の勤め先収入は448,227円となっており、全国平均499,127円を100としたときの水準は89.8であった。

また、エンゲル係数は25.3%であり、全国平均26.5%より低くなかった。

○勤労者世帯

世帯主が会社、官公庁、学校、工場、商店などに勤めている世帯。ただし、世帯主が社長、取締役、理事など会社団体の役員である世帯は除く。

○世帯主の配偶者（女）の収入割合

勤労者一世帯当たり年平均1か月間の世帯主の配偶者（女）の収入 ÷ 勤労者一世帯当たり年平均1か月間の勤め先収入 × 100

○黒字

「実収入」と「実支出」との差であり、「可処分所得」から「消費支出」を差し引いた額とも同じである。

○黒字率

一世帯当たり年平均1か月間の黒字 ÷ 一世帯当たり年平均1か月間の可処分所得 × 100

○エンゲル係数

消費支出に占める食料費の割合（%）であり、生活水準の高低を表す一つの指標。

○家計調査

全国のすべての世帯（施設等の世帯及び学生の単身世帯を除く。）から、約9千世帯を抽出して家計收支の調査を行い、都市別、地域別、収入階級別、そのほか世帯の特性による集計結果によって、国民生活の実態を毎月明らかにし、国の経済政策・社会政策の立案のための基礎資料を得ることを目的とした調査。

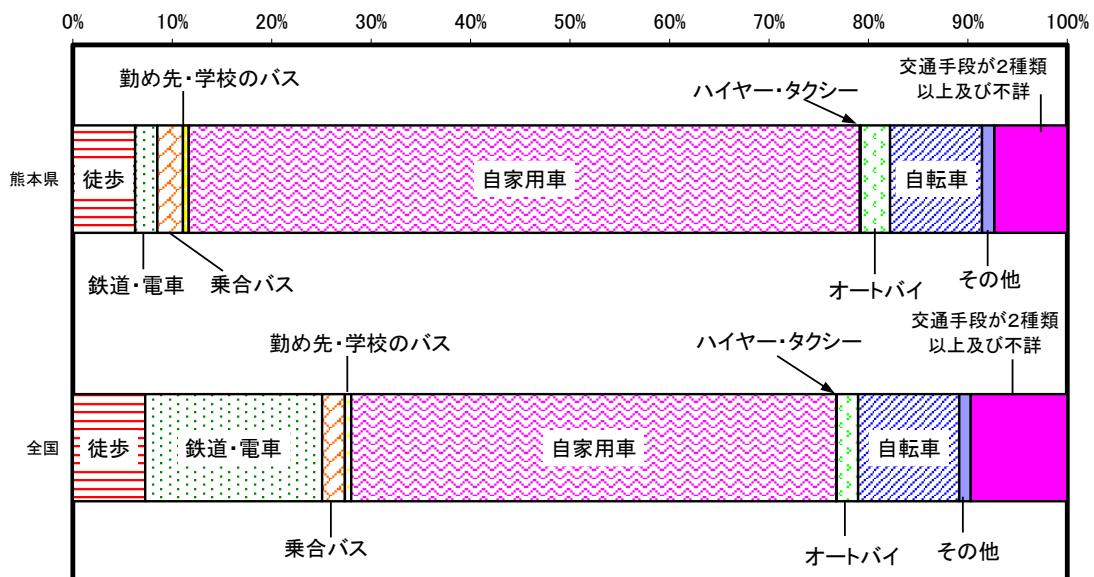
資料出所	調査期日	調査周期
「家計調査」 総務省統計局	令和6年	毎年

50 通勤・通学 Commuting and Attending School

都道府県 Prefecture			通勤・通学者割合 Ratio of commuting employed persons and persons attending school							
			徒歩だけ Only on foot		鉄道・電車利用 Users of train or tram		自家用車利用 Users of private car		自転車利用 Bicycle users	
			(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank
北海道	Hokkaido		11.2	1	9.7	13	54.3	36	5.7	39
青森県	Aomori		7.9	10	1.4	44	71.9	17	6.0	35
岩手県	Iwate		7.1	13	2.2	35	73.1	14	5.8	38
宮城県	Miyagi		7.8	11	10.7	12	57.5	34	7.0	29
秋田県	Akita		6.1	27	1.7	41	78.2	2	5.5	42
山形県	Yamagata		5.7	30	1.7	41	79.0	1	5.7	39
福島県	Fukushima		6.1	27	2.5	31	75.5	5	5.7	39
茨城県	Ibaraki		4.6	44	6.0	15	69.9	22	6.5	31
栃木県	Tochigi		4.3	47	3.5	22	73.3	12	7.6	25
群馬県	Gumma		4.5	45	3.0	29	75.2	6	7.6	25
埼玉県	Saitama		5.5	34	25.7	5	33.0	43	12.7	6
千葉県	Chiba		5.6	33	28.1	4	34.6	42	8.5	18
東京都	Tokyo		8.5	4	46.2	1	8.5	47	12.9	5
神奈川県	Kanagawa		8.4	6	34.7	2	18.5	46	8.4	20
新潟県	Niigata		6.7	20	3.4	25	74.2	10	4.8	45
富山県	Toyama		4.8	42	3.4	25	77.7	3	5.3	44
石川県	Ishikawa		7.1	13	2.1	38	72.2	16	6.0	35
福井県	Fukui		5.5	34	2.2	35	76.5	4	6.2	34
山梨県	Yamanashi		6.6	23	3.5	22	72.9	15	6.5	31
長野県	Nagano		7.1	13	3.9	20	73.7	11	5.9	37
岐阜県	Gifu		5.3	37	4.6	18	70.9	19	6.9	30
静岡県	Shizuoka		6.8	19	4.0	19	65.6	29	9.1	15
愛知県	Aichi		6.2	25	13.9	9	52.5	37	10.1	12
三重県	Mie		4.7	43	5.9	16	69.1	23	6.4	33
滋賀県	Shiga		5.4	36	11.4	10	57.3	35	8.8	16
京都府	Kyoto		8.4	6	18.6	8	30.0	44	15.0	2
大阪府	Osaka		6.7	20	29.8	3	18.6	45	20.4	1
兵庫県	Hyogo		6.9	18	22.2	7	36.1	41	11.5	10
奈良県	Nara		5.7	30	23.3	6	41.9	40	7.3	27
和歌山县	Wakayama		4.9	41	4.9	17	63.3	31	9.2	13
鳥取県	Tottori		6.2	25	2.0	39	74.6	8	7.8	22
島根県	Shimane		7.0	16	1.0	46	75.0	7	7.2	28
岡山県	Okayama		5.1	39	3.5	22	65.7	28	11.9	8
広島県	Hiroshima		8.4	6	7.3	14	49.3	39	12.2	7
山口県	Yamaguchi		7.0	16	2.9	30	70.0	21	8.3	21
徳島県	Tokushima		4.5	45	1.5	43	71.3	18	11.3	11
香川県	Kagawa		5.3	37	3.9	20	66.4	26	11.7	9
愛媛県	Ehime		6.7	20	2.4	33	59.5	33	14.1	3
高知県	Kochi		6.0	29	1.9	40	63.4	30	13.0	4
福岡県	Fukuoka		8.4	6	11.3	11	49.6	38	8.8	16
佐賀県	Saga		5.1	39	3.1	28	73.3	12	7.8	22
長崎県	Nagasaki		11.2	1	3.2	27	59.6	32	2.4	47
熊本県	Kumamoto		6.3	24	2.3	34	67.5	25	9.2	13
大分県	Oita		7.4	12	2.2	35	70.4	20	7.7	24
宮崎県	Miyazaki		5.7	30	1.0	46	74.5	9	8.5	18
鹿児島県	Kagoshima		8.5	4	2.5	31	67.9	24	5.4	43
沖縄県	Okinawa		9.2	3	1.4	44	66.1	27	2.8	46
全国	Japan		7.0		17.1		46.9		9.8	

* 注: 利用交通手段が1種類の場合

通勤・通学方法（利用交通手段が1種類の場合・令和2年）



解説

【概要】

令和2年の県内の通勤・通学者は約784千人であった。そのうち、交通手段が1種類のみの者の利用交通手段をみると、自家用車が67.5%を占め、次いで自転車が9.2%を占めていた。

また、全国と比較すると、本県は鉄道・電車が極端に少ない一方で、自家用車通勤が多い結果となった。

注：この調査項目は、国勢調査の大規模調査（10年に1回）の年に実施

○歩行だけの通勤・通学者割合

歩行だけで通勤・通学をする15歳以上人口 ÷ 通勤・通学をする15歳以上人口 × 100

○鉄道・電車利用の通勤・通学者割合

通勤・通学の手段に鉄道・電車を利用する15歳以上人口 ÷ 通勤・通学をする15歳以上人口 × 100

○自家用車利用の通勤・通学者割合

通勤・通学の手段に自家用車を利用する15歳以上人口 ÷ 通勤・通学をする15歳以上人口 × 100

○自転車利用の通勤・通学者割合

通勤・通学の手段に自転車を利用する15歳以上人口 ÷ 通勤・通学をする15歳以上人口 × 100

注）通勤・通学をする15歳以上人口は利用交通手段「不詳」を含む。

資料出所	調査期日	調査周期
「国勢調査」 総務省統計局	令和2年10月1日	10年 (大規模調査年)